

「天府の国」と称されてきた成都是四川料理の発源地-四川省の省都で、また、パンダの故郷、歴史上において三国蜀漢の都として広く知られています。さらに、2000年に始まった西部大開発の拠点都市として経済活性化され、中国西南地区における科学技術、商業貿易、金融、交通の中心地であります。面積は1万2400キロ平方メートルで、戸籍人口1532万、中国大都市ランキングで第4位に当たる都市です。2010年10月、アメリカ雑誌『フォーブズ』は将来10年の全世界において、発展の最も早い都市として発表されました。今回は四川省の省都-成都を回りまして、その感想を皆さまへご報告させていただきます。 **△出所: 成都投資ガイド**



成都人の生活

成都是といえはのんびりしている都市とよく言われています。四川の人々は酒食遊樂に凝っており、大都市の速いリズムを求めています。生活は仕事よりもっと余暇を大切にしている、私生活と仕事をきちんと分け、私生活を十分に楽しむからこそ仕事に取り組むことができるという理念をしっかりと持っています。麻雀は四川西部の文化とも言え、簡単で覚えやすく面白いので、成都人がもっとも好きな娯楽活動の一つです。

また、「火鍋」は成都を代表する言葉とも言えるでしょう。ある飲食サイトの調査によりますと、成都では、「火鍋店」のシェア率は、14.6%で、7軒店に1つは「火鍋店」となっています。これは成都の気候と深い関係があります。成都是「春が早く、夏が暑い。秋が涼しく、冬が暖かい。雲や霧が多く、日照時間が短い。そして空気がじめじめとしている」という典型的な盆地気候です。地形の影響でいつもジメジメしているので成都の人々は唐辛子、火鍋などの辛い物を食べ、汗を出し、体の湿気を払います。



↑ 若者たちが麻雀娯楽



↑ 火鍋の店



↑ 火鍋の具材

成都の消費力

成都市の平均収入は約上海平均収入の70%ですが、飲食価格は約上海の50%、また、平均マンション価格は約上海の25%です。上海市民と比較すると自由に使えるお金が多く、「今を楽しもう」という考え方を持っている成都市民の消費力は中国国内でも非常に有名です。また、西南部の中心都市として、海外からの観光客だけではなく、周りの都市からの消費客も多く、サービス業の発展が著しく、商業施設もどんどん作られており、世界中のブランドが集まっています。

売上げNO.1のイトーヨーカドー

1997年成都に進出したイトーヨーカドーは現在成都では6店舗を運営しています。地域密着という理念で、現地の人材を活用して、日本のよいライフスタイルや商材を成都の市民へお届けしています。全世界で約180店舗あるイトーヨーカドーグループ内で売上げNO.1の店は成都2号店-「双楠店」です。



↑ 平日午後イトーヨーカドー双楠店の様子

【お問合せ】

JEC

皆逸希国際貿易(上海)有限公司
株式会社ジェック経営コンサルタント上海事務所
ADD: 上海市長寧区遵義南路88号2305室
TEL: +86-21-61157069 FAX: +86-21-61157389
中国HP: www.jeck.cn